

なかしべつ 議会だより

No.134

令和4年7月



(カトリック幼稚園)

暑い夏を牛乳で乗り切ろう！
牛乳は「熱中症」を防ぐ強い味方です。

主な内容 「一般質問」 6名 (P3～6)

新任時議員研修に参加して (P9)

議会改革視察研修を実施しました (P10)

中標津町議会報告会を開催します！ (P14)

議会ホームページ



6月定例会 全議案可決

補正予算など

令和4年6月定例会を6月13日から17日まで開催。以下の議案について審議し、議決しました。

■令和4年度中標津町各会計補正予算

◇一般会計補正予算（第2号）

7271万6千円を追加し、総額146億5384万9千円となりました。

補正内容 保育士等処遇改善臨時特例事業
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業
介護施設感染防止対策事業
牛乳・乳製品活用促進事業 ほか

◇病院事業会計補正予算（第1号）

932万6千円を追加し、総額56億3072万4千円となりました。

補正内容 新型コロナウイルス対策「医療提供体制整備事業」

■報告

- ◇令和3年度中標津町一般会計継続費繰越計算書の報告について
- ◇令和3年度中標津町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- ◇令和3年度中標津町一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について
- ◇令和3年度中標津町町立中標津病院事業会計繰越計算書の報告について

■その他

- ◇北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の一部変更について
- ◇北海道市町村総合事務組合理約の一部変更について
- ◇北海道市町村職員退職手当組合理約の一部変更について
- ◇辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
- ◇辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
- ◇工事請負契約の締結について
(中標津下水終末処理場反応タンク機械設備更新工事)
- ◇工事請負契約の締結について
(中標津下水終末処理場反応タンク電気設備更新工事)
- ◇財産の取得について（除雪トラック購入その1）
- ◇財産の取得について（除雪トラック購入その2）
- ◇財産の取得について（除雪トラック購入その3）

6月定例会で以下の項目について町長及び教育長から報告を受けました。

一般行政報告

1. 要望等について
2. 寄贈金品について
3. 作況状況及び公共牧場、各牧野の入牧状況について
4. 株式会社明治工場建設用地取得について
5. 中標津空港の利用促進について
6. 学校法人岩谷学園について
7. 令和4年度建設工事の発注状況について

教育行政報告

1. 令和4年度町立学校学級編成について
2. 令和4年3月卒業の中学生・高校生の進路状況について
3. 新型コロナウイルス感染症の対応について

詳しい内容はこちらのホームページに掲載しています。

<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/gyouseihoukoku/>



一般質問

全文はこちらのホームページに掲載しています。

<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>



質問 人口減に抗するための女性の包括支援について

答弁 女性総合窓口設置に向け積極的に検討します

江口 智子 議員

質問

中標津町は20代から40代半ばにかけての女性の流出が多く、人口減に抗するため育児や介護をしながらテレワークできる環境を調査研究すべきではないでしょうか。

また、貧困・暴力被害など女性の抱える困難を相談できる窓口を設置し、女性の自立支援の手を打つべきだと思います。

役場職員の男女比など、共同参画の状況はどうなっているかお尋ねします。

町長答弁

女性の就業支援については、今後の施策につなげるための調査を行い、女性デ



再質問

女性対応専門の総合窓口を早急に設置し、女性の視点を十分に取り入れ施策に活かす配慮が必要であると考えます。

町長答弁

女性対応専門の総合窓口に関しては、女性職員の配置や専門知識の必要性に加え、プライバシーの保護にも十分配慮した環境が必要であり、積極的に検討していきます。

また、職員の配置に関わらず、まちの各種施策に女性の視点を取り入れることは大変重要であり、今後十分配慮します。

デジタル人材育成について調査研究を進めます。
女性の支援窓口については設置に向けて検討します。
次に町立病院を除く、本年4月の会計年度任用職員を合わせた職員の内訳は男性44%、女性56%となり、管理職における女性の割合は10%となっています。

質問 18歳成人消費者教育について

答弁 消費者教育の充実を図ります

宗形 一輝 議員

質問

4月から民法改正により、成人の年齢が引き下げられました。18歳からは親の代理権、同意権、取消権がなくなり、契約したものは取消しできなくなります。

消費者教育について何ができて何ができないのか、また何に気をつけて生活していかなければならないのか、しっかりと教育しなければならぬと思います。

単なる授業だけではなく、現場を見てきた弁護士等の法曹の方や警察、消費生活センター等に授業していただき、これからの長い社会生活を送る上で必要な知識をつけさせるべきだと思います。



当町には中標津農業高等学校があり、就職率がとても高く、卒業後、社会生活を送るうえで様々な契約等をしていくこととなります。

町の若者が安心安全に暮らしていけるよう消費者としてのリテラシーをつけていく必要があると思います。

また、中標津高等学校とも内容を共有し、町の子もたちの将来を守るべきと思いますが、教育長はどのようにお考えでしょうか。

教育長答弁

現場に近い弁護士等の法曹の方や警察、消費生活センターなどの協力を得るなど、中標津農業高等学校及び中標津高等学校とも連携しながら消費者教育の充実を図りたいと考えています。

他の一般質問

■ なかしべつ330。開陽台マラソン大会について

質問 コロナ対応地方創生臨時交付金の使途と町民公募について

答弁 幅広く情報収集のうえ対応してまいります

松村 康弘 議員

質問

コロナ対応地方創生臨時交付金2億7696万円の交付枠を受ける企画について、各部署におけるコロナ対策や貧困世帯に対する給付措置については出尽くしているというところでしょうか。

そこでコロナ対応と地域振興を複眼的に見据えた国からの交付金があるという話を町民に開示すれば、必ず声が上がってくると思います。

そのような提案を受けて実現に向けて努力すること、かねてからの懸案である企業誘致やふるさと納税、長期滞在観光客の大幅増に結びついていくと考えます。

町民に対して協働を求め、新たな企画を募るべき



町長答弁

本年の交付金1億6772万5千円のうち当初予算において6つの事業、この6月定例議会において新たに5つの事業への充当を予定しております。

更に本年4月26日に取りまとめられた国の「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」として新たに1億3203万4千円が配分されたところであり、特に経済的に厳しい環境に置かれた生活者や影響を強く受ける事業者等に対して、緊急かつ直接的な支援を目的として迅速かつ的確に対応してまいります。

今後の活用について事業内容が交付金の趣旨に沿い、町民に対し説明責任が求められるものでありますので、幅広く情報収集のうえ対応してまいります。

他の一般質問

■ 交付金の使途に対する提案について

■ 審議会等の会議録を図書館において公開することについて

と考えますが、いかがでしょうか。

質問 北方四島医療支援事業の予算削除について

答弁 平和条約交渉の再開に向けて医療支援事業を閉ざす考えはありません

高橋 善貞 議員

質問

令和4年度一般会計当初予算に「北方四島医療支援事業」の予算が1322万5千円計上されておりますが、この予算は外務省の北方四島住民支援事業における町立中標津病院の医療支援事業であり、患者6名・延べ168日間の受け入れを予定したもので、全額国庫補助金で補填される事業です。



中標津町においては、ウクライナへの支援募金箱がコンビニや飲食店に置かれております。

ロシアの武力攻撃・侵攻の影響はコロナ禍による経済の停滞と併せて、基幹産業である農業の経営に必要な飼料・肥料の価格高騰、林業は輸入材の一部が停止の危機にあり、今後さらに影響は拡大すると思われるます。

早急にこの予算を削除し、ロシアによるウクライナ侵攻に対する中標津町の強い抗議の姿勢を示すべきと考えますが、町長の見解をお聞かせください。

町長答弁

北方領土交渉はロシア側との対話が困難な中、非常に厳しい情勢にあります。平和条約締結交渉の再開に向けて、隣接地域として北方四島交流事業の一つである医療支援事業の受け入れを、現時点で閉ざすことは適切ではないと考えています。

質問 教育用タブレット端末の利用について

答弁 完全持ち帰りを段階的に進めます

安藤 美佳 議員

質問

「GIGAスクール構想」のもと、児童生徒一人に対して一台利用できるように教育用タブレット端末を導入しました。今後も新型コロナウイルスの影響に対応するには、この教育用タブレット端末を利用したオンライン授業を可能にする必要があると思えます。



の貸し出し等、今後の方針をお聞かせください。

教育長答弁

学校の臨時休校等、非常時における児童生徒への学びの保障を効果的・効率的に行うためには、端末の持ち帰り学習とICTを活用した取り組みが必要です。そのため、家庭内での端末の活用に向けて、現在検討を進めています。

タブレット端末を持ち帰りにつきましては、家庭内での通信環境の整備や通信費の負担、破損紛失時の対応等、数多くの課題があります。

課題の洗い出しや協議とともに家庭内での利用にあたっての持ち帰りのルール、通信環境の整備等、オンライン学習に向けた体制整備を保護者の理解と協力を求めている、できるだけ早期に持ち帰りを可能とするよう考えていきます。

質問 子ども食堂について

答弁 できる支援を検討し積極的に協力していきます

佐久間 ふみ子 議員

質問



子ども食堂は、子ども貧困対策から子育て支援、地域づくりと幅広い住民ニーズを受け、コロナ禍であっても急速に増え続け、その数は全国で6千箇所にも広がっています。

先日、新聞に釧路・根室管内の子ども食堂と地域食堂22団体が紹介されていました。

本町では、2年前からボランティアサークルの皆さんが中心となって子ども食堂を開設し、年に10回程度の活動を通して子どもたちや保護者の方と楽しく交流されています。

様々な事情を抱えた子どもたちと繋がっていくことが大切との話から、子ども

町長答弁

の貧困対策はもとより、地域活性化や交流の場、子どもの見守りの場として大事な役割を担っていると感じました。

第7期総合計画の主要施策で子育て支援、応援する体制づくりと子どもの居場所づくりが掲げられています。

本町として新規開設に向けた環境づくりや継続的に運営されるための具体的な支援策と、多くの子どもたちが支援を受けられる体制を整備していくべきと思いますが、町長のお考えをお聞かせください。

子ども食堂の活動は児童の健全育成に寄与するところから児童館の無償貸し出しや、国等で行っている食材供給事業等の情報を提供することにも、町内の食材を提供したいという企業の相談窓口となつて、ボランティアサークルに紹介しています。

今後でもできる支援を検討し、積極的に協力していきます。

第2回臨時会

4月28日に開催された臨時会において、補正予算及び条例の一部改正について審議し、議決しました。

■令和4年度中標津町一般会計補正予算（第1号）

- ・113万3千円を追加し、総額145億8113万3千円となりました。

補正の内容：顧問弁護委託料

■条例の一部改正

- ・中標津町町税条例等の一部を改正する条例制定について
- ・中標津町都市計画税条例の一部を改正する条例制定について
- ・中標津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について
- ・中標津町介護保険条例の一部を改正する条例制定について

意見書

みんなの声を国政に



詳しい内容はホームページに掲載しています。
<http://www.nakashibetsu.jp/gikai/ippansitumon-ikensyo/>

議員から意見書案が発議され、定例会において審議の結果可決し、関係機関に提出されました。

地方財政の充実・強化を求める意見書

提出者 阿部 隆弘 議員

- 1 社会保障の維持・確保、防災・減災・脱炭素化対策、地域活性化に向けた取り組みやデジタル化対策など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握し、それを支える人件費も含めて、十分な地方一般財源総額の確保を図ること。
- 2 新型コロナウイルス感染症の体制確保、その他の新型コロナウイルス対応事業や地域経済の活性化までを見据えた十分な財源措置を図ること。
- 3 子育て、地域医療の確保、介護や児童虐待防止、生活困窮者自立支援など、急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、地方単独事業分も含めた十分な社会保障経費の拡充を図ること。
- 4 また、これらの分野を支える人材確保に向けた自治体の取り組みを十分に支える財政措置を講じること。

- 5 デジタル・ガバメント化における自治体業務システムの標準化に向け、地域デジタル社会推進費に相当する財源を継続して確保するなど、十分な財源を保障すること。また、デジタル化が定着化していく過渡期においても、人材・財源を含めた対応を行うこと。
- 6 「まち・ひと・しごと創生事業費」として確保されている1兆円については、持続可能な地域社会の維持・発展に向けて恒久的な財源とする。また、同規模の財源確保はもとより、その拡充を含めて検討すること。
- 7 会計年度任用職員制度の運用については、今後とも当該職員の処遇改善が求められることから、引き続き所要額の調査を行うなど、さらなる財政需要を十分に満たすこと。
- 8 森林環境譲与税については、より林業需要を見込める地方公共団体への譲与額を増大させるよ

う、その譲与基準を見直すこと。

9

地方交付税の法定率を引き上げるなど、臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。あわせて、地方の安定的な財源確保に向けて、偏在性の小さい所得税・消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。

10

地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化を図り、小規模自治体に配慮した段階補正の強化など対策を講ずること。

2022年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

提出者 松野 美哉子 議員

- 1 「地域間格差にも配慮しながら、より早期に全国加重平均1000円になることを目指す」ことが堅持された「経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針）」を十分尊重し、経済の自律的成長の実現に向けて、最低賃金を大幅に引き上げること。
- 2 設定する最低賃金は、経験豊富な労働者の時間額が、道内高卒初任給（時間額1042円）を下回らない水準に改善すること。

3

厚生労働省の業務改善助成金など各種助成金を有効活用した最低賃金の引き上げを図ること。同時に、中小企業に対する賃上げしやすい環境整備、支援の充実と安定した経営を可能とする実効ある対策を図るよう国に對し要請すること。

森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 高橋 善貞 議員

- 1 森林の多面的機能を持続的に発揮し、ゼロカーボン北海道の実現に貢献するため、適切な間伐と伐採後の着実な植林の推進に必要な森林整備事業予算や、防災・減災対策の推進に必要な治山事業予算を十分に確保すること。
- 2 森林資源の循環利用を一層推進するため、IC T等の活用によるスマート林業の推進、木材生産・流通体制の強化、建築物の木造・木質化、木質バイオマスのエネルギー利用の推進などによる道産木材の需要拡大、森林づくりを担う人材の育成・確保などに必要な支援の充実・強化を図ること。

コロナ禍等における物価高騰から 住民生活を守る緊急要望

令和4年6月20日(月)、町長に対し以下内容の要望書を提出しました。

今後も所管委員会で調査研究を踏まえ、住民目線に立った施策の提案や要望に努めます。

4月26日、政府においてコロナ禍における「原油価格・物価高騰など総合緊急対策」に対し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を拡充した「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」が創設され、地方自治体が実施する生活に困窮する方々の生活支援や、学校給食費等の負担軽減など子育て世帯の支援、また、農林水産業者や運輸・交通分野をはじめとする中小企業者等の支援といった取り組みをしっかりと後押しすることが、総合緊急対策に明記された。

これらを踏まえ、中標津町の実情に応じた効果的な施策を、確実かつ具体的に実行して頂くよう、下記を重点項目として要望する。

なお、既に各自治体の交付限度額が通知され、国の交付決定前でも対象事業に着手することが可能となっていることから、社会経済状況の推移を注視するとともに、生活に困窮する方へ確実に支援が届くよう、スピード感ある事業展開にご留意願います。



1 コロナ禍において原油価格や物価高騰に直面する生活困窮者の負担軽減に資する生活支援事業について

- (1) 住民税非課税世帯及びコロナ禍による家計急変世帯など、生活に困窮する方々の生活支援、障がい者の就労支援、認定子ども園等保育施設を含む学校給食費の無料化
- (2) 水道料金の基本料金免除

2 コロナ禍において原油価格や物価高騰による影響を受ける事業者の負担軽減に資する産業支援事業について

- (1) 農林業者に対する経営支援
- (2) バス・タクシーなどの地域公共交通及びトラックなど、地域の物流の維持に向けた経営支援
- (3) 宴会場など事業収入が著しく減少し、なお、その回復が見込めない事業者への事業面積相当部分の固定資産税等の減免
- (4) 水道料金の基本料金免除

新任時議員研修に参加して

日時：令和4年5月8日(日)～11日(水)

場所：千葉県千葉市
市町村職員中央研修所
(市町村アカデミー)



研修テーマ

1 「地域経済の行方と地方創生」

経済ジャーナリスト・大正大学表現学部客員教授 渋谷 和宏氏

2 「アフターコロナとSDGsのまちづくり」

(株)ローカルファースト研究所代表取締役 関 幸子氏

3 「地方議会改革の進め方」

大正大学社会共生学部公共政策学科教授 江藤 俊昭氏

4 「『共存』から『共生』へー外国人住民を交えた地域づくり」

芝園団地自治会事務局長 岡崎 広樹氏

新型コロナウイルス感染症の影響で参加を見合わせていた「新任時議員研修」に市町村アカデミーで開催の「令和4年市町村議会議員特別セミナー」を選択しました。1期生議員6名で参加し、実際に取り組んでいる先進地の事例や実例をもとに、各講師の方々のお話を聞いてまいりました。

上記のようにテーマは違いますが、根本にある重要な事項に「傾聴」がありました。人と人との相互理解なくして未来を良いものには変えられません。特に今は「変化」の時代だからこそ、中標津町もその「変化」についていかなければならない時期にあると思われます。



行政が思いつかない発想を提案できる議会を目指し、町民や各種団体との意見交換に取り組んでいかなければなりません。

そのためにも、議会は見聞を広め多くの方の意見をもとに今までよりも深い協議をしていかなければならないと考えます。

今後、研修で得た情報・知識をこれからの議員活動に生かし、資質向上に努めてまいります。

中標津町議会議員 平山 光生

研修から私たちが考える中標津町で取り組むべきこと

- ・若者からシニア層までも楽しめるような視野を広げた事業の協議
- ・空港利用者などを考えて都会からの交流人口をふまえた選ばれる場所づくりや住んでいると当たり前の風景を再認識し、中標津のPRを官民一体で考えること
- ・議会改革としての様々な取り組みがゴールではなく、地域にあった議会へと議員全員が同じ認識で取り組み、住民への説明をはじめ懇談を繰り返していくこと
- ・傾聴から得た声でPDDCA(P計画・D討議・D決定・D実行・C評価・A改善)サイクルを形成する
- ・外国人との共存から共生など多文化のみならず、町内会や地域コミュニティの新たな形態を構築するための人材活用
- ・新しい官民連携、新しい公共を実現できるよう各種団体との意見交換

視察研修を実施しました



進んでいます!! 議会改革

研修終了後、浦幌町議会の皆様と

令和4年4月20日(水) 白老町議会

令和4年4月21日(木) 浦幌町議会

議会改革特別委員会が発足して以降、コロナ禍のため改革先進議会の視察機会を調整できずにおりましたが、北海道のまん延防止等重点措置期間が明けたことから、白老町・浦幌町議会に視察を受け入れていただきました。

両議会とも、議会改革に関するセミナーや調査レポート等に必ずと言っていいほど名前が挙がる、長年にわたり改革を実践している議会とあって、通年議会や議会基本条例など、当議会の諮問事項のみならず、常任委員会の機能的な活用、広報・広聴のあり方など、多岐に渡る学びがありました。

また、財政難、町議選における定数割れなど町や議会の問題に対し、座して動かない議会ではなく、自らその課題を見出し、町民とともに試行錯誤を重ねながら解決に向かってきた実践は、そのまま議員個々の誇りと信念という形で新人議員にも受け継がれていることを感じました。

研修後は改革委員のレポート提出を経て、中標津町議会の活性化に向けた課題の洗い出しを進めています。特に、議会モニターからも頻繁に指摘のある一般質問をする議員の偏りや、9月で新編成となる常任委員会の調査研究の更なる深化等、住民の福祉向上に向けて精力的に活動するとともに、議員の活動量を報酬の根拠とする「原価方式」による、議員個々の月ごとの活動について、4月よりデータ採取を開始しました。

今後は更に検証を深め、中標津スタイルともいえるべき、議会改革の向かうべき姿を模索するとともに、改革委員会の委員が先頭に立ち、日々の議会活動、議員活動の充実を図るべく実践していきます。



白老町議会での研修



議会改革特別委員会 委員長 江 口 智 子

総務文教常任委員会

活動レポート



総務部

●ふるさと応援制度推進事業について

寄附金の申込状況は、令和4年3月末現在で、6862件の寄附件数で1億1688万3413円、前年度より213万円の減額となる見込みこの報告を受けました。

令和4年度の取組については、推進体制の強化・返礼品事業者との連携強化・返礼品の拡充・寄附者へのPR強化の4点を大きな取組として体制強化を図る旨の報告を受け

ました。

その他にふるさと納税公式インスタグラムを4月1日に開設、7日間で170人のフォローとなつていくこと、日本ハムファイターズのマスコットキャラクター「B・B」のブログと連携するなど返礼品の紹介だけでなく、中標津町の特色など、興味を持たれる情報発信に努めることの報告を受け、意見交換をしました。

委員 新たな商品開発にむけて、町内の事業者との意見交換など、町民から意見を募る機会を持つべきではないか。

担当 4月から役場内のふる



日本ハムマスコットキャラクター「B・B」

さと納税の体制を強化し、観光協会とも連携して商品開発に力を入れていきます。さらに町民の声を反映できるような体制づくりを進めます。

委員 他町では町村間でコラボし新商品を開発している事例がある。中標津町も検討してはどうか。

担当 中標津の商品の魅力や強みが他のまちの商品とコラボすることで新たな返礼品にできるように、すでに他町との検討を始めたところです。

●中標津町行財政健全化計画について

令和3年度から令和7年度までの第8次中標津町行財政改革大綱が示され、第7期中標津町総合計画で掲げた施策の着実な推進と、さらなる行政改革と財政健全化の推進について説明がありました。

公共事業の発注は、地元の企業を育てるような発注形態

をつくることで、企業の利益が税収に繋がるような仕組みを考へるべきとの申し入れを行いました。

●北方領土対策について

令和4年度北方四島交流事業について、第1回から第3回の交流訪問事業の中止、第1回の交流受け入れ事業など、当面見送ることとし今後は政府と連携し対応するとの報告を受けました。

また、ロシアによるウクライナ侵攻の影響により北方領土問題の解決に向けた岸田総理大臣への合同要請を、6月2日総理大臣官邸で道内の関係団体が行う旨の報告がありました。

委員会開催 4月13日

5月24日

(佐野 弥奈美 議員)

厚生常任委員会

活動レポート



町立病院

●管理運営について

令和3年度の決算見込みの詳細が報告されました。

決算前ですが、「令和3年度収益的収入・支出決算額の内訳」についての概要は表のとおりです。

令和3年度 収益的収入・支出決定額の内訳

		(千円)		
	区 分	決算額	計	消費税処理後の純利益
収 入	入 院 収 益	1,538,677	4,694,575	307,941
	外 来 収 益	1,326,229		
	一般会計繰入金	989,010		
	そ の 他	840,659		
支 出	給 与 費	2,296,557	4,386,634	303,866
	材 料 費	689,631		
	経 費	1,039,817		
	減価償却費	193,655		
	支払利息	48,076		
	そ の 他	118,898		

令和2年度と比較し診療収入が増額となり、新型コロナウイルス対策に係る国庫補助金・道補助金等が補填された結果、収支黒字額は3億794万1千円、表の消費税処理後の純利益は3億386万6千円となり、平成11年度の病院移転後23年目で、初めて純利益を計上しました。

新型コロナウイルス

感染症の先が見えない状況ですが、アフターコロナを見据えて「10床プロジェクト」が発表され、さらなる経営改革に期待したいと思います。

町民生活部

●新型コロナウイルスへの対応について

4月30日現在の人口2万2千778人に対して、1回目接種1万9千270人（接種率85%）、2回目接種1万9千112人（84%）、3回目接種1万6千471人（72%）でした。

4回目の接種予定は、3回目接種から5か月以上経過した60歳以上の約7千人を対象に7月～9月に実施予定で、実施場所等は現在調整中です。

●住民生活・環境衛生事業について

「地域公共交通の活性化及び再生法に関する法律」が令和2年11月に改正され、地方自治体は「地域公共交通計



交通センター

画」を作成することとなりました。

これを受けて、中標津町の地域交通関係者による法定協議会（中標津町地域公共交通活性化協議会）が組織され、令和5年3月頃までに計画策定したいとの説明がありました。

委員会開催 4月15日

5月19日

（黒川 静夫 議員）

産業建設常任委員会

活動レポート



経済部

●学校法人岩谷学園について

・ひがし北海道日本語学校
4月11日に中標津経済セン
ターにおいてオンラインによ
る入学式が挙行されました。

本年度は50名の定員に対し
35名の合格者がいますが、ビ
ザの発給や入国審査などの問
題から入学できるのは4名で、
昨年度の入学生6名と合わせ
て10名が順次5月中旬から入国
してきますとの報告を受けま
した。

・(仮称)岩谷学園IT専門学校
令和6年4月の開校を目指
して準備を進めており、地域
未来ITテクノロジー科の専
門課程として、地元産業への
人材供給に寄与する「農業I
Tコース」「商業観光ITコ
ース」を検討しているとの報
告を受けました。

場所は東7条南9丁目から

東9条南10丁目の町有地です。

開設場所は職員住宅などを
解体した所を予定しています
が、必要な部分のみとし、町
有地の有効活用を図るよう申
し入れを行いました。

・その他

委員 神奈川県の調理師専門

学校が道東を修学旅行先にし
たいとの話がありました。が、
その後の経済部の対応はどの
ようになっていますか。

担当 今年3月に専門学校と
旅行会社が見に来ており、
実施の方向で検討されていま
す。また、中標津農業高校と
神奈川県内の農業高校が協定
を結び、修学旅行の他に、相
互交流を行うことも検討され
ています。

●観光振興について

緑ヶ丘森林公園整備にあた
り、公園とキャンプ場及びゆ
めの森公園など周辺施設の活
用を組み合わせた形で検討し、

また基本計画の策定には町内
関係者など様々な方の声を反
映するよう申し入れを行いま
した。

●農業振興について

5月24日開陽台町営牧場の
入牧を視察しました。



入牧視察の様子

の合計は240cmとなり、除
雪や排雪などで59回の出動と
なりました。

除雪費は当初予算7500
万円から3回の補正予算と予
備費充当により、2億268
7万1339円との説明を受
けました。

●大規模盛土造成地変動予測 調査について

委員 大規模盛土造成地変動
予測調査の委託業務が発注さ
れていますが、町民に対し説
明はどのように行っています
か。

担当 調査対象地域には、調
査内容等を個別に説明を行っ
ています。調査結果は、概要
版と住民説明会資料を委託業
務の中で作成し、住民説明を
行っています。

委員会開催 4月14日

5月24日

(熊倉 重樹 議員)

建設水道部

●除雪事業について

12月から3月までの積雪量

Nakashibetsu 議会

中標津町議会報告会

ミルク Café を開催します

議員18名
とお話し
ませんか？

お待ちして
います！

ワールド
カフェで
開催

お気軽に
ご参加
ください！

当議会では、これまで町民皆様の負託に応え説明責任を果たし、議会の活動状況報告とともに、議会に対する意見や提言などをお聞きするため、議会報告会を中標津会場、計根別会場の2会場で開催してきました。



しかし、残念ながら私たちが期待する参加者数に及ばず、年々減少していることを議会として真摯に受けとめています。



ワールドカフェ方式で
開催したモニター会議の様子

今後、より多くの皆様が議会に関心をもち、気軽に懇談ができる開催方法を検討した結果、本年度は議員18人が同会場に集い、皆様とグループに分かれテーブルを囲み、「ワールドカフェ」方式でテーマに沿った対話を中心に進めます。お気軽にご参加ください。

詳細は折込チラシ・ホームページ等で改めてお知らせします。

と き 令和4年8月21日(日) 午前10時～午後12時

ところ ウエディングプラザ寿宴（市街地のみの開催になります）

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により中止となる場合がございます。

知っていますか？

中標津町議会町民懇談会

令和元年10月に「広く町民の皆様と対話の機会を設ける」ことを趣旨として、「中標津町議会町民懇談会実施要綱」を制定していますが、皆様に本制度が浸透していないことから、申し込みが少ないのが現状です。

今般、上記「議会報告会」を市街地のみで開催することにいたしましたが、それ以外でも本制度をご活用いただくことで、議員が皆様のところへ出向き、皆様と対話をしたいと考えています。

また、懇談会はテーマを決めて行うものとしており、内容は「まちづくりに関すること」「中標津町議会に関すること」「その他、町の重要な事項に関すること」と定めています。

まずはお気軽にお申し込みをいただき、懇談できることを楽しみにしています。

本懇談会をとおして、より議会を身近に感じ議会への関心を高めていただき、ともに本町の発展に取り組んでまいりたいと考えています。



議会ホームページ
町民懇談会

中標津町植樹祭に参加しました

5月15日中標津町緑ヶ丘森林公園にて開催されました「令和4年度植樹祭」に、後藤議長を始め議員7人が参加しました。

西村中標津町長と岡嶋根室振興局長挨拶のあと植樹記念標柱を設置し、根釧東部森林管理署職員により植樹の実技指導をいただきました。

そのあと、参加者約200人の手で森林公園の一部0.6haにアカエゾマツ・クロエゾマツ・トドマツ・トウヒ・ニオイヒバの5種類、各300本の1500本が植えられました。コロナ禍で一般参加ができない年が続きましたが、当日は天候に恵まれ、青空のもと参加者は皆笑顔で心地よい汗をかきました。

この植樹祭に関連して排出されたCO₂の一部は「中標津町緑化管理組合」に購入していただくJクレジットによりカーボン・オフセットされます。



中標津地域森林・林業・林産業活性化議員連盟

会長 高橋善貞

編集後記

議会広報特別委員会 委員長 宗形一輝

いつも議会だよりを読んでいただきありがとうございます。

第134号議会だよりをもって現委員会では最後の編集となりました。2年間を振り返りますと、コロナによる行動制限があり、行事・研修等の中止や思うような編集作業が進まず、たくさんの困難がありましたが委員の協力により無事に任務を終えることができました。

就任当初の第127号を読返すとインターネットの普及により、「だれでもどこでも情報が得られる時代になったことから、SNSによる情報発信を検討します」と書いていましたが、各常任委員会委員会レポートの提案、SNSによる情報発信をすることができました。

また、ページ数も2ページ増やすことができ、議会の余すことのない情報提供、読みやすい議会だよりを作ることができました。次の議会広報のさらなる発展に期待したいと思います。

町民の方々から様々なお褒めの言葉、お叱りの言葉をいただきました。すべてが議会広報の糧となり発展につなげていきますので、たくさんの議会だよりに対するご意見をお寄せください。



令和4年4月から6月までの活動報告

月 日	行 事	出席者	月 日	行 事	出席者
4月5日	交通安全祈願祭	議長	30日	全国町村議会議長・副議長研修会 (東京都)	正副議長
6日	議会広報特別委員会	全委員	6月1日	6月定例会議件事前説明	正副議長・ 正副議運委員長・ 三常任委員長
7日	議会改革特別委員会	全委員			全委員
11日	議会広報特別委員会 岩谷学園ひがし北海道日本語学校 入学式	欠席1名 議長			議長
13日	総務文教常任委員会	全委員	5日	伊東よしたか国政報告会	正副議長
14日	産業建設常任委員会	全委員	8日	議会運営委員会	全委員
15日	厚生常任委員会	全委員		根室地方総合開発期成会定期総会、 根室教育振興会総会、根室教育研 究所維持委員会（根室市）	議長
19日	根室町村議会議長会定期総会	正副議長	12日	乳牛感謝祭	議長・ 産業建設常任委員長
20～21日	議会改革特別委員会視察（白老町 議会・浦幌町議会）	全委員・議長	13日	総務文教常任委員会	全委員
26日	議員会役員会	全役員		厚生常任委員会	全委員
27日	全国統一メーカー中標津地区集会	議長		産業建設常任委員会	全委員
28日	第2回臨時会	全議員		議会運営委員会	全委員
	全員協議会	全議員		6月定例会本会議（1日目）	全議員
	中標津町議会議員会総会	全議員		全員協議会	全議員
	中標津地域森林・林業・林産業活 性化議員連盟総会	全議員	14日	厚生常任委員会	全委員
	総務文教常任委員会議	全委員		産業建設常任委員会	全委員
30日	鈴木貴子新春交礼会	正副議長		北海道町村議会議長会定期総会 (札幌市)	議長
5月8日	新任時議員研修（千葉市）	1期生6名	15日	総務文教常任委員会	全委員
～11日			16日	議会運営委員会	全委員
15日	中標津町・根釧東部森林管理署共 催植樹祭	高橋林活会長 外議員	17日	三合同常任委員会	全委員
18日	株式会社明治乳業本社訪問	議長		6月定例会本会議（2日目）	全議員
19日	厚生常任委員会	全委員		全員協議会	全議員
	老人クラブ連合会総会	議長	20日	コロナ禍等における物価高騰から 住民生活を守る緊急要望	議長・ 3常任委員長
	中標津町商工会通常総代会	議長	21日	議会広報特別委員会	全委員
20日	なかしべつ観光協会定時総会	副議長	22日	議会広報特別委員会	全委員
21日	（仮称）岩谷学園ひがし北海道I T専門学校に関する説明会	議長外議員	23日	議会改革特別委員会	全委員
23日	議会改革特別委員会	全委員	24日	総務文教常任委員会	全委員
24日	総務文教常任委員会	全委員	26日	陸上自衛隊釧路駐屯地創立69周年 記念行事	議員3名
	産業建設常任委員会視察	全委員	29日	議会改革特別委員会視察（根室市 議会）	全委員・議長
25日	全町内会連合会表彰式・定期総会	議長	30日	議会広報特別委員会	全委員
28日	自由民主党北海道第七選挙区支部 定期大会（釧路市）	議長			

議会だよりに対する ご意見をお寄せください。

〒086-1197 北海道標津郡中標津町丸山2丁目22番地

中標津町役場

TEL (0153) **73-3111** FAX (0153) **73-5333**

〈議会事務局にご連絡を〉

- ・ホームページは <http://www.nakashibetsu.jp>
- ・メールは gikai@nakashibetsu.jp

送信フォーム



発行／北海道中標津町議会
編集／議会広報特別委員会



宮川 眞一 氏

任期は令和4年6月28日
から令和8年6月27日

中標津町監査委員の
選任に同意しました

人事案件